

飼料イネの北部向け優良品種

～ 多収で栽培しやすい3つの品種を紹介します ～

極早生「ふくひびき」

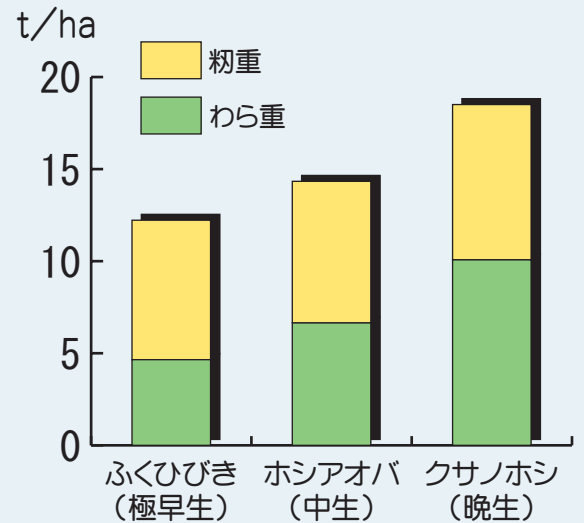
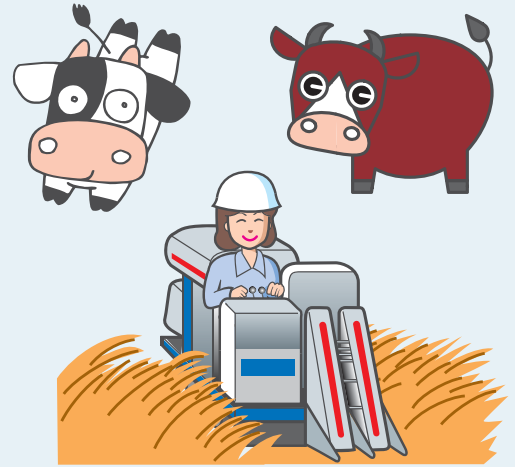
「あきたこまち」並の出穂期で、短稈穂重型で籾の割合が高い。

中生「ホシアオバ」

「ホウレイ」より出穂期が5日遅く、穂重型で大粒。

晩生「クサノホシ」

長稈，穂重型で，乾物収量とTDN収量は最も高い。



北部向け飼料イネ3品種の生育・収量特性

熟期区分	品種	出穂期 月・日	稈長 cm	穂数 本/m ²	玄米 千粒重g	TDN 乾物%	TDN収量 kg/a
極早生	ふくひびき	7.24	62	313	24.5	54.5	67
中生	ホシアオバ	8.07	77	263	31.8	51.6	76
晩生	クサノホシ	8.29	83	253	25.1	51.4	87
(比較)	ホウレイ	8.02	74	418	24.1	53.7	67

注) 大朝町(標高400m)における5月中旬播種, 2001～02年
TDN: 可消化養分総量(家畜に利用されるエネルギー量)

栽培上の留意点

過繁茂による倒伏を抑制するため、過剰な施肥は避けましょう。

晩生品種は標高 500 m 以下で 9 月初旬までに出穂する地域に限ります。